

令和3年度 秋季一般入学者選抜試験（3年コース）

小論文試験問題

注意事項

1. 開始の合図があるまで、開かないこと。
2. この問題冊子は8枚綴り、問題は片面に印刷されている。
3. この問題冊子は持ち帰ること。
4. 解答用紙は必ず提出すること。
5. この試験の問題は、ただ1つ特定の正解が存在することを前提とするものではない。また、解答者の思想・信条を問うものではない。

解答記入上の注意

1. 解答は、黒、青、ブルーブラックのボールペン（プラスチック製消しゴム等で消せないもの）又は万年筆で記入しなさい。
2. 解答は横書きにして、原則としてマス目に1字記入しなさい。
3. 加筆・訂正・削除は、その記入方法も含めて自由とする。ただし、修正液・消しゴムなどを使用してはならない。
4. 加筆・訂正・削除をした場合は、それらを含めて、完成後の答案が字数の制限内に収まるようにしなさい。
5. 読みやすい答案となるよう心掛けなさい。

問 題

次の文章は、小熊英二『日本社会のしくみ』（講談社現代新書、2019年）から抜粋した文章である。これを読んで、以下の問いに解答しなさい。（〔問1〕〔問2〕〔問3〕〔問4〕の配点割合は、1：1：1：1）

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

【問1】

下線部①「執筆者たちにとって意外だった」のは何故と思われるか。文中の言葉を使って350字以上500字以内で解答しなさい。

【問2】

下線部②「残余型」とは、どのような人々のことを指すか。文中の言葉を使って350字以上500字以内で解答しなさい。

【問3】

下線部③「それは過去の制度が、社会の変化にあわなくなっていることを意味している」とは、例えばどのようなことか。350字以上500字以内で解答しなさい。

【問4】

この文章に表れている、「日本社会のしくみ」において、あなたが法曹の立場ならどのような役割を果たせる（果たすべきである）と考えるか。文章の趣旨を踏まえつつ、350字以上500字以内で解答しなさい。

【解答作成上の留意点】

- I 本問は、解答者の思想や信条を問おうとするものではない。また、法知識の有無を問おうとするものでもない。
- II 〔問1〕〔問2〕〔問3〕〔問4〕は、それぞれ独立のものとみなして採点する。必要な場合には、他の解答欄に記述したことでも繰り返して記述しなさい。

【出題趣旨】

〔問1〕は、長文読解力及び表現力を問う問題である。「正社員になり定年まで勤めあげる」という生き方が日本で「典型的な人生」ではなかったというのであり、その根拠を文中から読み取り要領よくまとめなければならない。

〔問2〕も、長文読解力及び表現力を問う問題である。「残余型」の説明は最終の大段落に集約されているが、文章全体を的確に理解した上で、「大企業型」や「地元型」との対比で説明する必要がある。

〔問3〕は、問題を整理し分析する能力、論理的に思考する能力及びそれらを文章で的確に表現する能力を評価するものである。「制度」の典型例として年金を中心にした社会保障制度が文中で紹介されており、これを題材とするのが一例となる。

〔問4〕は、「残余型」が増加し変容を余儀なくされている現代日本社会に関し、法曹を目指す立場の視点から、問題を抽出・分析し、具体的な対処方法を思考し、的確に表現する能力を評価するものである。